

MGI015-01

会場:展示ホール7別室2

時間: 5月24日13:45-14:00

IUGONETプロジェクトについて

Outline of the IUGONET project

林 寛生^{1*}, 小山 幸伸², 堀 智昭⁵, 田中 良昌⁶, 鍵谷 将人⁶, 河野 貴久⁵, 吉田 大紀²,
上野 悟³, 金田 直樹³, 阿部 修司⁴, 三好 由純⁵, 岡田 雅樹⁶, 中村 卓司⁶, 能勢 正仁²

Hiroo Hayashi^{1*}, Yukinobu Koyama², Tomoaki Hori⁵, Yoshimasa Tanaka⁶, Masato Kagitani⁶,
Takahisa Kono⁵, Daiki Yoshida², Satoru UeNo³, Naoki Kaneda³, Shuji Abe⁴,
Yoshizumi Miyoshi⁵, Masaki Okada⁶, Takuji Nakamura⁶, Masahito Nose²

¹京都大学生存圏研究所, ²京大院・附属地磁気世界資料解析センター, ³京大院・附属天文台,
⁴九州大学宙空環境研究センター, ⁵名古屋大学太陽地球環境研究所, ⁶国立極地研究所,
⁷東北大院・惑星プラズマ・大気研究センター

¹RISH, Kyoto Univ., ²DACGSM, Kyoto Univ., ³Kwasan & Hida Observatories, Kyoto Univ., ⁴SERC, Kyushu Univ.,
⁵STE Lab., Nagoya Univ., ⁶National Institute of Polar Research, ⁷PPARC, Tohoku Univ.

大学間連携プロジェクト「超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究」

(IUGONET)では、国立極地研究所、東北大学、名古屋大学、京都大学、および九州大学の5機関が連携し、全地球に展開しているレーダー、磁力計、光学観測装置、太陽望遠鏡等を用いた超高層大気の地上観測ネットワークにおいて、これまで長年にわたって蓄積された多種多様な観測データに関するメタデータのデータベースシステムを構築する。これまでは、このような観測データは、観測を行った機関ごとにデータベース化され、関係する特定の分野でのみの利用に留まっていたが、メタデータ・データベースを利用することで、それぞれのデータを横断的に検索・取得することが容易になり、これら観測データの有効利用がはかれる。これにより、多様な観測データを利用した総合解析を促進し、様々な現象が複雑に絡み合う超高層大気の長期変動のメカニズム解明を目指す。発表では、本プロジェクトの概要について説明する。

キーワード: 超高層大気, 地上観測, メタデータ, データベース, データ解析, 解析ソフトウェア

Keywords: upper atmosphere, ground-based observation, metadata, database, data analysis, analysis software